

■ 動物園

昭和58年5月にオープンした動物園にはゾウやミニチュアホースなどがあります。動物とふれ合うことや動物に餌を与えることができます。

一番人気のゾウのふじ子は、ベルトコンベアーの上に餌を載せると長い鼻で餌をたぐり寄せて食べてくれます。

また、平成20年3月には、東名高速道路の東に動物ふれあい広場がオープンしました。



ふじ子



動物ふれあい広場

▼ Animo

動物園の西隣に動物行政を総合的に行う動物総合センター“Animo”が平成20年3月にオープンしました。



あにも Animo



■ ロボットKS君

生家から移築された本多光太郎博士の部屋で、博士の偉業を顔や手、目などを動かしながら言葉巧みに解説してくれます。

■ 紅葉のライトアップ

11月下旬から12月上旬にかけて、紅葉を夜間に楽しむ機会として、ライトアップを行います。あしのべ池周辺で行います。

モミジを照らす明かりが池の水面に反射します。モミジと光の調和も併せてお楽しみ下さい。特に浮御堂からの眺めが最高です。



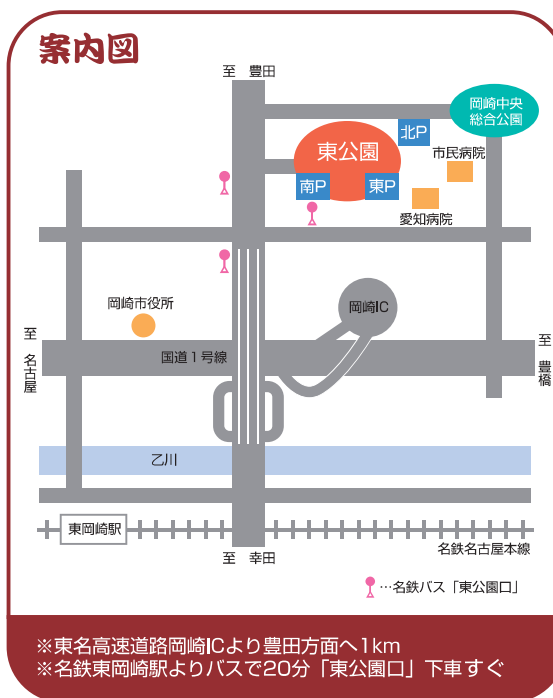
■ 東公園

豊かな緑に囲まれた園内には、大きな三つの池があり噴水や水鳥達が出迎えてくれます。

初夏は花菖蒲、秋には紅葉の名所として知られているほか、ゾウや ラマ などいろいろな動物を無料で見ることができる動物園として、広く知られています。

園内には、岡崎市出身で世界的地理学者の志賀重昂先生ゆかりの南北亭、三河男児の碑や鋼鉄研究の世界的権威者である本多光太郎博士の勉強部屋も移築されており、文化の公園としても楽しむことができます。

また、オリエンテーリングやランニングコースなども設けられ、一年を通してたくさんの方々に親しまれています。



所在地 岡崎市欠町字大山田1
問い合わせ先 東公園管理事務所 TEL.0564-24-0050
市役所公園緑地課 TEL.0564-23-6250

ホームページ <http://www.city.okazaki.aichi.jp>

東公園

文化の散歩道



4 東天竺山世尊寺

釈迦堂とも呼ばれ、志賀重昂氏の発願により昭和4年に建立されたものです。



3 近藤孝太郎歌碑

岡崎市出身の芸術家、思想家、社会運動家の先覚を記念するため、昭和35年に建てられました。



2 岡田撫琴句碑

岡崎俳壇の重鎮岡田撫琴の句碑で昭和16年に建立されました。



1 藤井達吉歌碑

小原工芸紙の祖である美術工芸家藤井達吉翁の「梅」を詠んだ歌の直筆を彫ったものです。昭和42年建立。



5 海の記念碑

シンボルの錨は、戦艦長門の副錨で、我國の恒久平和を願う象徴として昭和52年に建立されました。



6 等閑庵

この茶室は、天保2年(1831)に建てられたと言われ、茶道宗偏流の再興者として知られる不蔵庵龍溪が設計した由緒あるもので、昭和58年に寄付されてここに移築されたものです。



7 南北亭

原名を「四松庵」といい、明治44年に東京の志賀重昂屋敷内に建てられました。昭和4年に現在の地に移築され、「南北亭」と改名しました。



8 志賀重昂の墓

この墓の様式は、純インド様式の「スツーパー」で、郷土岡崎の花崗石に刻まれています。昭和5年建立。



9 本多光太郎博士の記念碑

本多博士の業績を顕彰しようと昭和45年に建てられ、信条「つとめてやむな」の直筆を自然石に彫ったものです。



10 本多光太郎資料館

「鋼鉄の父」本多博士が少年時代勉強した建物を、昭和44年に移築し、平成3年に資料館として整備しました。



11 志賀重昂銅像

文久3年(1863)旧岡崎藩士志賀重職の長子として生まれ、世界的な地理学者として活躍しました。昭和50年建立。

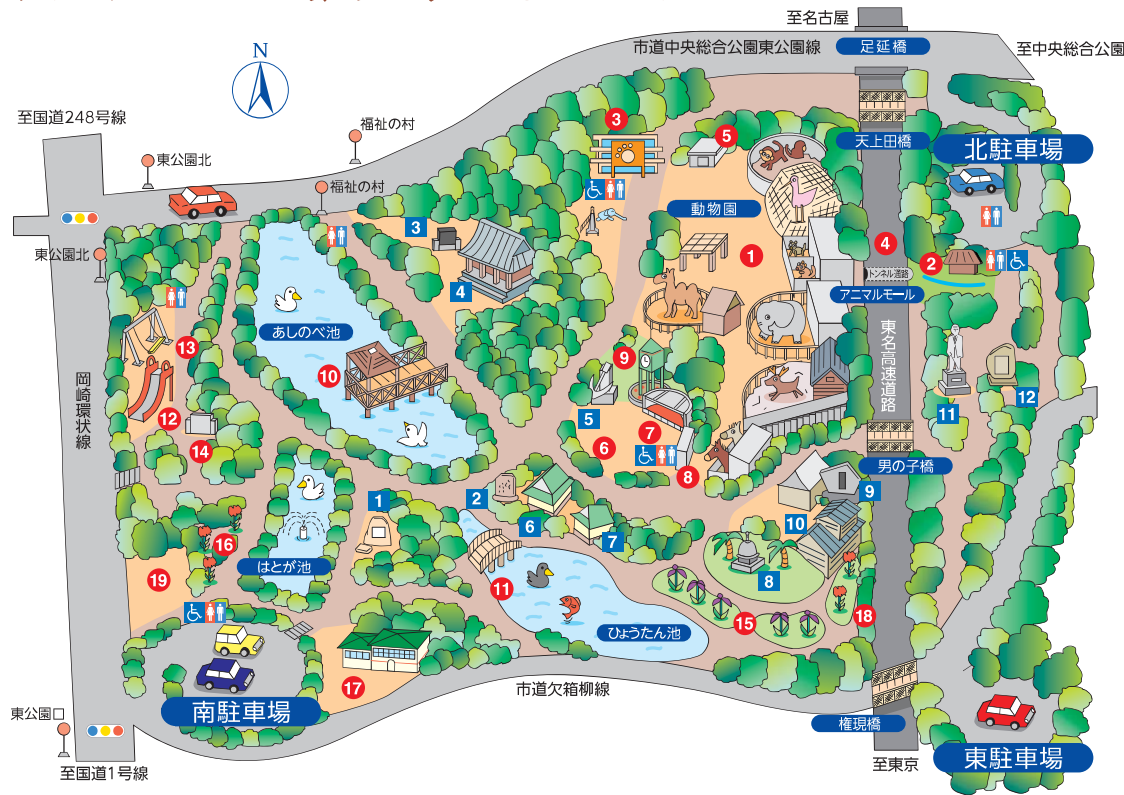


12 三河男児歌碑

志賀重昂の漢詩で三河男児奮起すべしの内容です。碑は高さ5m、幅2.4m、花崗石の重さ35tの大きなものです。昭和35年建立。



自然と文化の香り高い憩いの園



- 1 動物園 2 動物ふれあい広場 3 動物総合センター “Animo” 4 トンネル通路 “アニマルモール” 5 動物管理棟
6 広場 7 野外ステージ 8 休憩棟(売店あり) 9 時計塔 10 浮御堂 11 観月橋 12 希望の森 13 遊具広場
14 タイムカプセル 15 菖蒲園 16 ぼたん園 17 公園管理事務所 18 シャクヤク 19 旧本多忠次邸

START 「文化の散歩道」

GOAL!